



<目次>

- 1 手のマンガーが物語る—釈迦如来像
- 2 発想自由に地藏堂再建—ちいほの産屋
- 3 肩書で心は安らぐか—墓碑に思う
- 4 気分と自分は別もの—イライラの正体
- 5 既成概念壊す面白さ—あべこべ
- 6 私の中にいる「二人」—緊張と力み
- 7 二三〇〇年前の知恵に納得—人生のパートナー
- 8 望む「こと」だけに集中—引き寄せの法則
- 9 「いのち」の姿が出現—素の顔写真
- 10 葛藤を経て父に感謝—自分の名前
- 11 朝、子どもを起こさない—子育て
- 12 書くことは心の解放—我欲と対決
- 13 「心の大掃除」をする—記憶のガラクタ
- 14 胸に響くメッセージ—凶は、ありがたし
- 15 日本人のおおらかさ—お寺に鳥居
- 16 生きることは面白い—人生の筋書き
- 17 心の脱皮続けるには—コーチャビリティ
- 18 言うべきこと真剣に—怒り方を学ぶ
- 19 亡霊と息子の金づち—凝り固まった癖
- 20 心の壁壊し、さらけ出せ—人の強さと弱さ
- 21 凜とした生き方願う—息子の悩み
- 22 初心者に学ぶ「智慧」—時の経過
- 23 うやむやなものに形—言葉のちから
- 24 転んだっていいじゃん—肉体と精神
- 25 お客さまは神さまか—抑圧されたエゴ
- 26 予期せぬ結論 面白く—レットイットビー
- 27 宗教の概念 変換願う—家から個へ
- 28 人生まさに起承転結—意識の変容
- 29 身体に悪い考え逆転—ストレス
- 30 楽しむ・勝つ 意識で差—サッカーW杯
- 31 壁超えて本音で問答—牧師さんとの交流
- 32 多様な束ね「自分」—一体私は誰？
- 33 無意識の色分け反省—思い込みのワナ
- 34 何より大事なものは何—人生を編集する
- 35 制すれば人生も制す—嫉妬心の影と光
- 36 宇宙からの任務遂行—ストイックとは
- 37 他者を認め、人生まあるく—進化する環世界
- 38 面白く また怖いもの—無意識のちから

住職の「朝をひらく」書籍化

永田円了さん富山版連載など



永田円了さん

曹洞宗真国寺(富山市八ケ山)の19代住職(元富山国際大教授の永田円了さん)が、朝日新聞富山版で連載した「朝をひらく」冊の本にまとめた。冊の本の題名は富山版で連載していたコラムのタイトルと同じ「朝をひらく」。永田さんはこのコラムの執筆の一人として2009年5月から20年2月まで担当。富山版に掲載された永田さんのコラムのほぼ全てにあたる63回分などが収められている。

自坊の本尊に始まり、時事の話題、家族関係など幅広いテーマで書き続けた。執筆にあたっては「読者と同じ目線」を大切に、時には自分の家庭の問題もさらけ出してきたという。夫婦のオチを取り上げた「許し合う放屁」、配偶者の呼び方を考えた「嫁・旦那か妻・夫か」など読者が身近に感じる話題も多い。永田さんは「住職も同じ人間として悩みや問題を抱えているんだ」ということを書いた。自分の気持ちよくの本を読んだ人と共有できれば」と話している。

10日発売。四六判、256ページ。1500円(税別)の問い合わせは発行の文芸春秋企画出版部(03・63690000・6000)。(野中一郎)

- 39 「考えるな、感じよ！」—認知症の予防法
 - 40 ifの力、身体に満つ—ゼロからの出発
 - 41 止揚された自由存在—許し合う放屁
 - 42 目的から入る西洋人—坐禅を科学する
 - 43 参る人いる限り継承—墓の意義考える
 - 44 「より人間らしく」を—五輪の危機
 - 45 媚びずにマイペース—ネコの魅力
 - 46 清く美しく生きる—日本人の道徳観
 - 47 他者の弱さ受容する—『沈黙』を再考する
 - 48 元となる思いの点検を—失言は「失思、
 - 49 気づいた人生の意味—転勤辞令
 - 50 人生舞台の名優たち—スペシャリスト
 - 51 感情の固まり溶ける—物語に寄り添う
 - 52 「空気」壊す大事な役割—悪魔の代弁者
 - 53 人生を楽しむ力とは—意識深める問い
 - 54 意識変え、コトバ新た—嫁・旦那か妻・夫か
 - 55 「本来の軸」揺るがぬ—なぜブレるのか
 - 56 患者の不安を考えて—人の命の数値化
 - 57 頭の中の壁を越える—質問力
 - 58 ありのまま理解する—未知との出会い
 - 59 コトバが明かす本質—キンシンゾウオ
 - 60 生きる 死あってこそ—人生の締め切り
 - 61 生き方巡り沈黙の対話—住職と旅の僧
 - 62 荷を担ぎ人生に意味—ある寺僧の決断
 - 63 「ただそれだけのこと」—戦火で寺焼失の僧
- <自分化への旅>
- 64 翼竜は死に、鳥は生き残った
 - 65 鳥の翼、人間の翼
 - 66 ハトの夫婦、人間の夫婦
 - 67 平成たら汁騒動
 - 68 相づちで飯を食う人
 - 69 祈りと因果律
 - 70 アイデンティティの確立
 - 71 共生のアイデンティティ
 - 72 遠い異質を求めて
 - 73 選択の自由とは